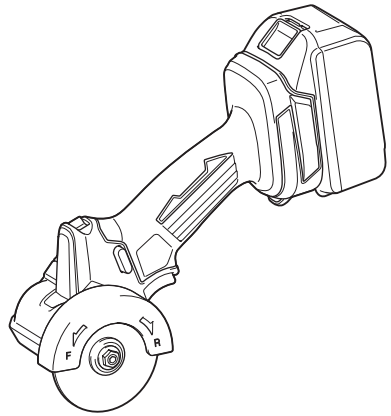


Makita

取扱説明書

76 mm充電式 コンパクトカッタ

モデル MC300D



このたびは76 mm充電式コンパクトカッタをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 充電式コンパクトカッタ安全上のご注意	12
・ 各部の名称および標準付属品	15
・ 別販売品のご紹介	16
・ バッテリ（別販売品）について	17
・ 使い方	20
・ 六角棒スパナ 4 の収納	20
・ 先端工具の取り付け・取りはずし方	21
・ ホイールカバーの位置調整	24
・ スイッチの操作	25
・ 正逆転切替スイッチの操作	25
・ ライトの点灯	26
・ 各種機能	27
・ 作業方法	28
・ 金工：76 mm 切断砥石（標準付属）	28
・ 石工：磁器タイル用ダイヤモンド（別販売品）	30
・ 塩ビ管など：塩ビ・FRP・石膏ボード用ホイール（別販売品）	32
・ 76 mm 集じんカバー（別販売品）	33
・ 76 mm 集じんカバーの使い方	36
・ 集じん機、ホースとの接続	37
・ 保護機能	38
・ 本製品およびバッテリーの保護機能	38
・ 故障かな？と思ったら	39
・ 保守・点検について	40
・ 本製品のお手入れ	40
・ タストカバーのお手入れ	40
・ ご修理の際は	40

主要機能




主要機能	モデル	MC300D
電動機		DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリー (別販売品)		リチウムイオンバッテリー
		BL1815N (容量 1.5 Ah)
		BL1820B (容量 2.0 Ah)
		BL1830B (容量 3.0 Ah)
		BL1850B (容量 5.0 Ah) BL1860B (容量 6.0 Ah)
電圧		直流 18 V
回転数		20,000 min ⁻¹
刃物寸法		外径 76 mm × 内径 10.0 mm
台金厚		1.0 mm
最大切り込み深さ		76 mm 集じんカバー有りの場合：13.5 mm 76 mm 集じんカバー無しの場合：16.0 mm
本製品寸法※ 1		長さ 271 mm × 幅 104 mm × 高さ 182 mm
質量※ 1		1.4 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 1：BL1860B 装着時

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発熱、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発熱の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 警告

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。
12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式コンパクトカッタとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 本製品は切断専用の工具として機能するように作られています。この取扱説明書をよくお読みの上、お使いください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
2. 本製品で研削、研磨、つや出しなどの作業をしないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
3. 当社指定の付属品や先端工具を取り付けてご使用ください。
 - ・ 当社指定以外の付属品や先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。
4. 本製品の銘板に表示されている回転数よりも許容回転数が高い表示をしている当社指定の先端工具を使用してください。
 - ・ 許容回転数が銘板表示より低い先端工具を使用すると、先端工具が破壊し、事故やけがの原因になります。
5. 先端工具の外径および厚さは、この取扱説明書に記載されている、能力内の正規の先端工具を取り付けてご使用ください。
 - ・ 能力外の先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。
6. スピンドルに合った先端工具を使用してください。
 - ・ 合わない先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。
7. スピンドルネジ部の固定が確実にできる先端工具を使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
8. 破損した先端工具は使用しないでください。使用前に先端工具にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。また、落とした場合は損傷がないか点検するとともに、最高無負荷回転数で1分間ほど運転して異常がないか確認してください。
 - ・ 異常があると、事故やけがの原因になります。
9. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、作業に応じて防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）、手袋などを着用してください。
10. 作業場所に第三者を近づけないでください。必要な場合は安全防護具を使用させてください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
11. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。また、絶縁されたハンドルだけを握ってください。
 - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
12. 先端工具の回転が完全に停止するまでは床や机の上などに置かないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。

⚠ 警告

13. 運転をしている間は、先端工具を身体に近づけないでください。
 - ・ 先端工具が衣服に引っかかったり、身体に触れたりすることで、けがや事故の原因になります。
14. ダストカバーは定期的に取りはずし、空気取り入れ口とともに清掃してください。
 - ・ 溜まった粉じんやゴミが故障の原因になります。
15. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 本製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
16. 冷却液が必要な先端工具を使用しないでください。
 - ・ 水や冷却液が感電の原因になります。
17. 使用中に先端工具が加工材にはさまったり、引っかかったりしたときには、キックバックという突然の反動を受けることがあります。事故やけがの原因になりますので、次の点に注意してください。
 - ・ 使用中は、反動や衝撃などが生じることがありますので、本製品を手離さないようしっかり保持してください。特に始動時は気をつけてください。
 - ・ 手を先端工具の近くに置かないでください。
 - ・ キックバックが発生したときに備えて本製品作業方向の延長線上に身体を置かないでください。
 - ・ コーナーや鋭いエッジなどを加工するときには特に注意してください。
 - ・ 指定された先端工具以外での切断作業はしないでください。
 - ・ 衣類が引っかかり身体を引き込むなど、事故やけがの原因になります。
18. ホイールカバーをはずさないでください。
 - ・ ホイールカバーは作業者の最大限の安全のために配置しています。ホイールカバーをはずして使用すると、破損した先端工具の破片および先端工具との不測の接触によりけがの原因になります。
19. 本製品を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
20. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。
21. [事業者の方へ] 先端工具の取り替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
 - ・ 関連法令 労働安全衛生規則 第36条、労働安全衛生法 第59条
 - ・ 安全衛生特別教育規程 第1条、第2条
22. スピンドル、フランジはヒビや欠けなど、傷つけないように取り扱ってください。
 - ・ 先端工具破損の原因となります。
23. 加工直後の被削材および先端工具を触らないでください。
 - ・ 被削材および先端工具が熱くなっており、やけどやけがの原因となります。
24. 他用途の先端工具（丸のこ刃、チップソーなど）は使用しないでください。

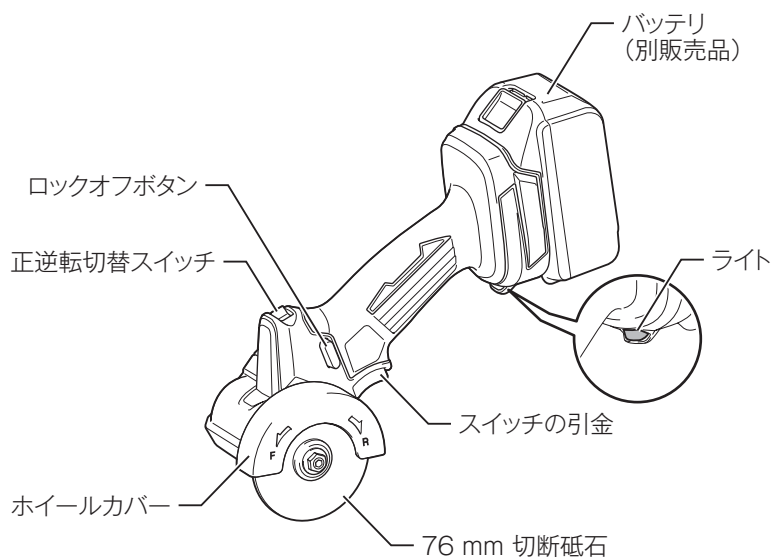
⚠ 警告

25. 本製品で切断作業をする際、火花を吸じんしないでください。
26. 先端工具は正しい使用面（外周下面）で切断してください。側面は使用しないでください。
 - ・ 先端工具が破損して事故やけがの原因になります。
27. ジグザグ切断、曲面切り、斜め切り、コジリ、側面使用は絶対にしないでください。
 - ・ これらの使用方法ではホイールや砥石が破損し、大けがの原因になります。
28. 先端工具は、規定のものを使用してください。ほかの大型の電動工具で使用して消耗した先端工具を使用しないでください。
 - ・ 回転速度の違いから破裂するなど事故の原因になります。
29. 切断作業中に先端工具が拘束されたときは、本製品のスイッチを切り、先端工具が完全に停止してから切断部から離し、原因を除去してください。
 - ・ 拘束されたまま再開すると、けがの恐れがあります。
30. 切断作業を中断したときは、切断部に切り込んだまま再始動しないでください。本製品のスイッチを切り、先端工具が完全に停止してから切断部から離して再始動してください。先端工具が最高速度に到達してから注意しながら切断部へ切り込んでください。
 - ・ 切り込んだまま再開すると、けがの恐れがあります。
31. 壁や内部が見えない部分に切り込みを入れるときは、切り込み部背面のパイプや電気配線などを切断する恐れがあるので特に注意してください。
 - ・ 感電、火災、けがの原因になります。
32. 先端工具をジグザグに動かしたり、過度の圧力をかけたりしないでください。また、過度の切り込みを入れしないでください。
 - ・ 先端工具に過剰な負荷をかけると、負荷が増大し、切断時にねじれたり拘束されたりしやすくなり、キックバックや先端工具破損の可能性が高くなります。

⚠ 注意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. スwitchを切った後も、惰性で回転している先端工具に注意してください。
 - ・ 手などが触れると、けがの原因になります。
3. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 本製品などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 使用中は、本製品の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・ 先端工具に触れ、けがの原因になります。
6. 試運転を励行してください。
 - ・ 試運転時間
 - 砥石交換のとき …………… 3 分間以上
 - 作業開始のとき …………… 1 分間以上
7. 新しい砥石を取り付けて初めてスイッチを入れるときは、砥石の回転面から身体を離してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ 76 mm 切断砥石
- ・ 六角棒スパナ 4

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 76 mm 切断砥石
部品番号：A-74382
- ・ 磁器タイル用ダイヤモンド
部品番号：A-74398
- ・ 塩ビ・FRP・石膏ボード用ホイール
部品番号：A-74407
- ・ 76 mm 集じんカバー
部品番号：A-74625
- ・ バッテリー BL1815N (容量 1.5 Ah)
部品番号：A-60311
- ・ バッテリー BL1820B (容量 2.0 Ah)
部品番号：A-61715
- ・ バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah)
部品番号：A-60442
- ・ バッテリー BL1850B (容量 5.0 Ah)
部品番号：A-59900
- ・ バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
部品番号：A-60464

バッテリー（別販売品）について

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリー（別販売品）について

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

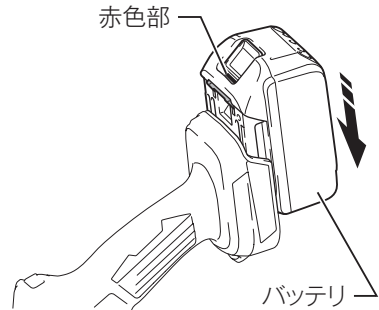
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

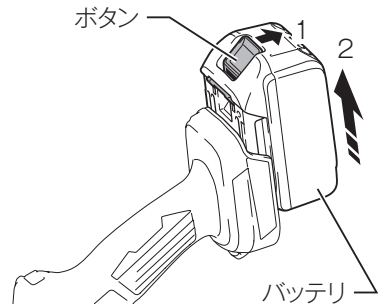
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。

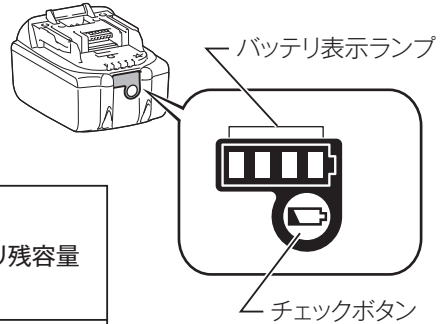


バッテリー（別販売品）について

バッテリー残容量表示機能

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリーの異常です。

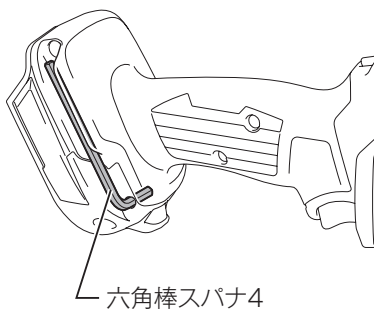
注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

使い方

六角棒スパナ 4 の収納

- 六角棒スパナ 4 を使用しないときは、図のように本製品に収納してください。



使い方

先端工具の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

先端工具の取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

磁器タイル用ダイヤを取り付けるときは、回転方向と磁器タイル用ダイヤに付いている矢印の方向を合わせて、磁器タイル用ダイヤの裏表に注意して取り付けてください。

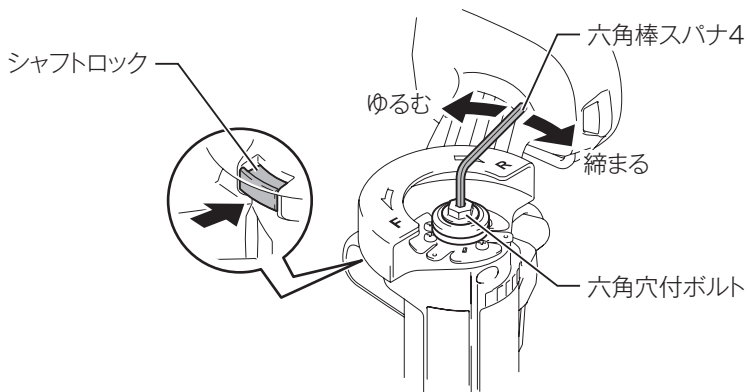
- ・ 矢印に合わせないと、回転方向に対し磁器タイル用ダイヤが逆向きとなり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

先端工具の着脱は付属の六角棒スパナ 4 以外の工具は使わないでください。

- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

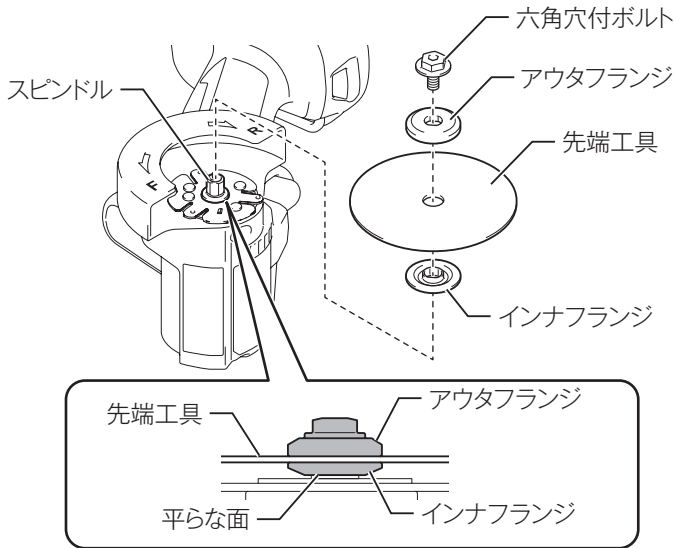
取り付け方

1. シャフトロックを押し込み、回り止めをします。
2. シャフトロックを押し込みながら、六角棒スパナ 4 を使用して六角穴付ボルトを、反時計回りに回してゆるめます。



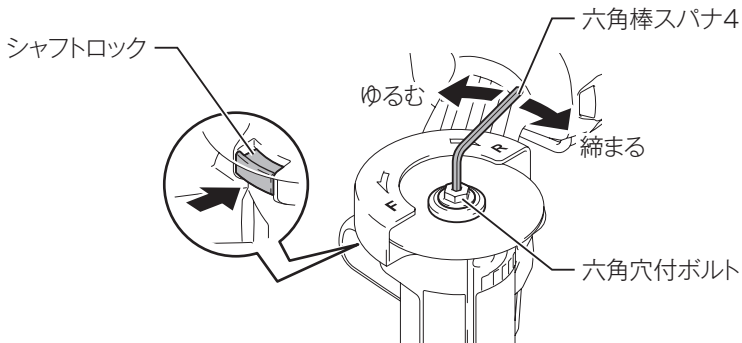
使い方

3. 六角穴付ボルト、アウトフランジを取りはずします。
4. 先端工具を取り付け、アウトフランジ、六角穴付ボルトを取り付けます。



注

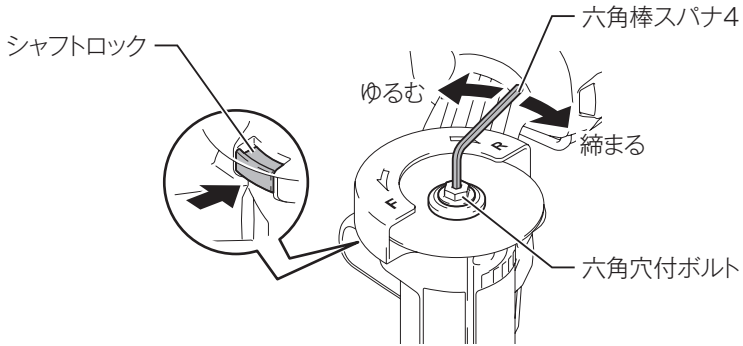
- ・ インナフランジを取り付ける際は、平らな面を下にしてスピンドルに取り付けてください。
5. シャフトロックを押し込みながら、六角棒スパナ4で六角穴付ボルトを、時計回りに回して締め付けます。



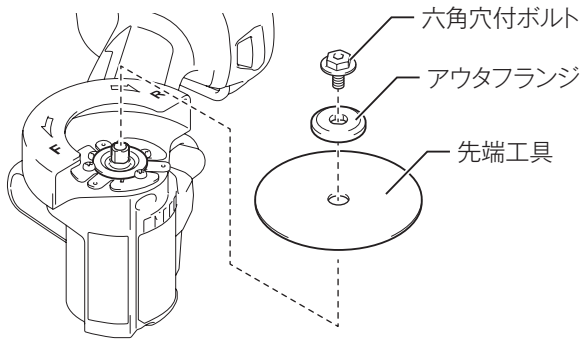
使い方

取りはずし方

1. シャフトロックを押し込み、回り止めをします。
2. シャフトロックを押し込みながら、六角棒スパナ4 を使用して六角穴付ボルトを、反時計回りに回してゆるめます。



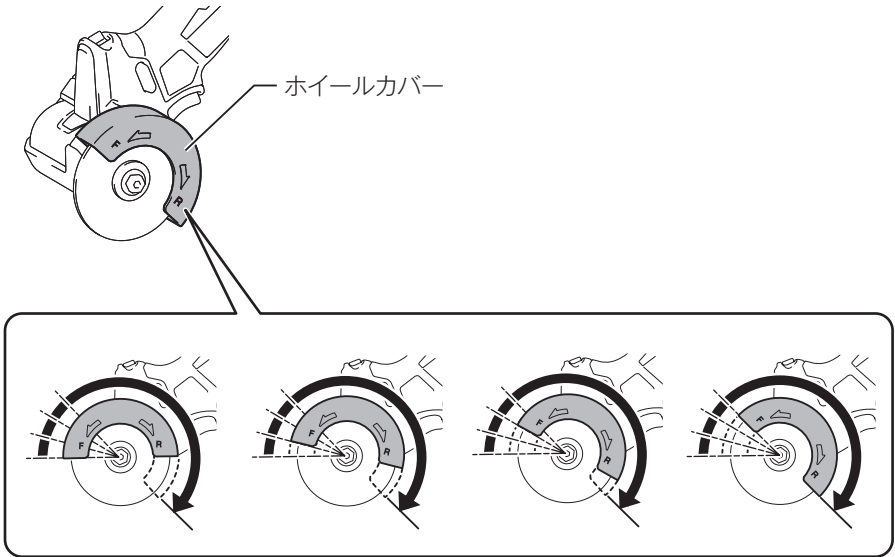
3. 六角穴付ボルト、アウトフランジを取りはずし、先端工具を取りはずします。



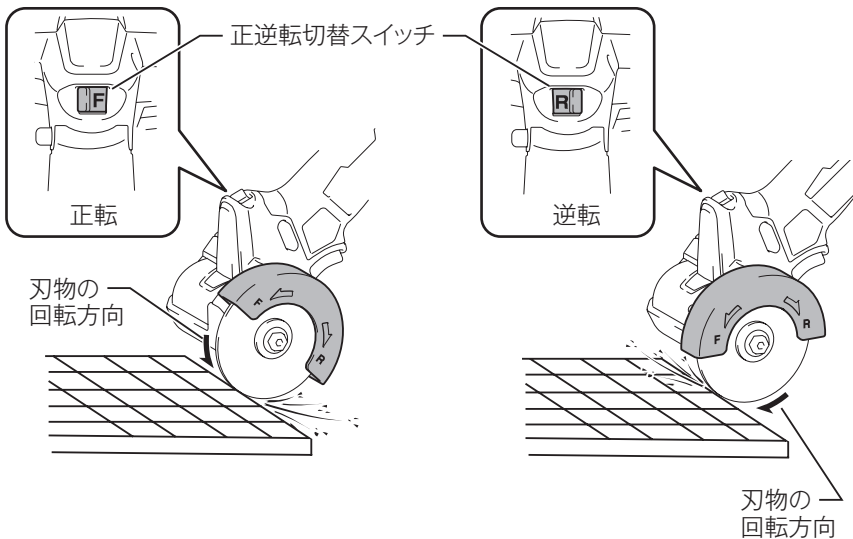
使い方

ホイールカバーの位置調整

- ・ 手動でホイールカバーの位置を 4 段階で調整できます。



- ・ 正転時、逆転時で火花の飛び方に注意しホイールカバーの位置を決めてください。
※正転時に火花は後方へ飛び、逆転時に火花は前方へ飛びます。



使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

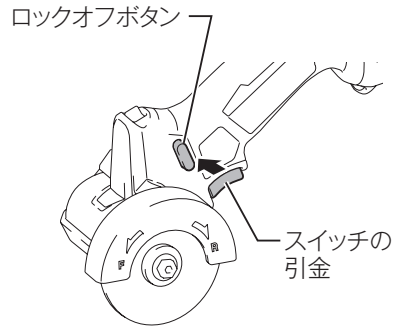
本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

ロックオフボタンを押さずにスイッチの引金を強く引かないでください。

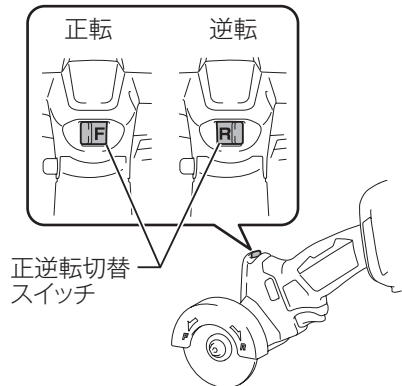
- ・ スイッチが破損する原因になります。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、放すと切れます。
- ・ スイッチの引金を放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



正逆転切替スイッチの操作

- ・ 正逆転切替スイッチをFにすると反時計回り（正転）し、Rにすると時計回り（逆転）します。



注

- ・ 作業中に正逆転切替スイッチを操作しないでください。

使い方

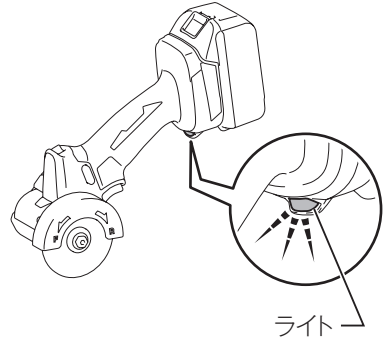
ライトの点灯

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。

- ・ ライトの光が連続して目にあたると、目をいためる原因になります。

- ・ ロックオフボタンを押しながらスイッチの引金を引くとライトが点灯すると同時に、本製品が作動します。
- ・ スイッチの引金を放すと、15秒後にライトは消灯します。



注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズをいためます。

使い方

各種機能

電気ブレーキ

本製品には電気ブレーキが装備されています。
スイッチの引金を放した後、本製品が速やかに停止しない場合、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

定回転制御

作業中負荷がかかっても工具の回転数が下がりにくく、回転数を維持するので高い作業性が得られます。

再起動防止機能

本製品には再起動防止機能が装備されています。
スイッチを入れた状態でバッテリーを差し込んでも起動しません。
その際は、スイッチの引金を放してスイッチを切ってから、再度スイッチを入れると起動します。

AFT（キックバック低減機能）

キックバック時の急激な回転数低下を検知して自動停止します。
本製品が自動停止したときは、スイッチの引金を放し、バッテリーをはずしてから切断する場所に障害物がないことを確認してください。その後、再度バッテリーを差し込み、スイッチの引金を引いてください。

注

- ・ AFT はキックバックそのものを防止するものではありません。

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、必ずホイールカバーを取り付けてください。

- ・ 先端工具が破損したとき、事故の原因になります。

切断中に本製品をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

- ・ モータに無理がかかるばかりでなく本製品自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

先端工具に亀裂などの異常がないことを確認してください。

- ・ 異常があると、先端工具が破壊し、けがの原因になります。

先端工具の側面を使用して作業しないでください。

- ・ 破損の原因になります。

周辺に燃えやすいものがないことを確認してください。

- ・ 使用中に火花が散り、火災の原因になります。

他用途の先端工具（丸のこ刃、チップソーなど）で作業しないでください。

使用後はスイッチを切り、先端工具の回転が完全に止まってから本製品を置いてください。

- ・ 回転中に本製品を置くと、本製品が飛び跳ねる原因になり危険です。また、切粉やゴミが空中に舞い吸い込むことがあります。

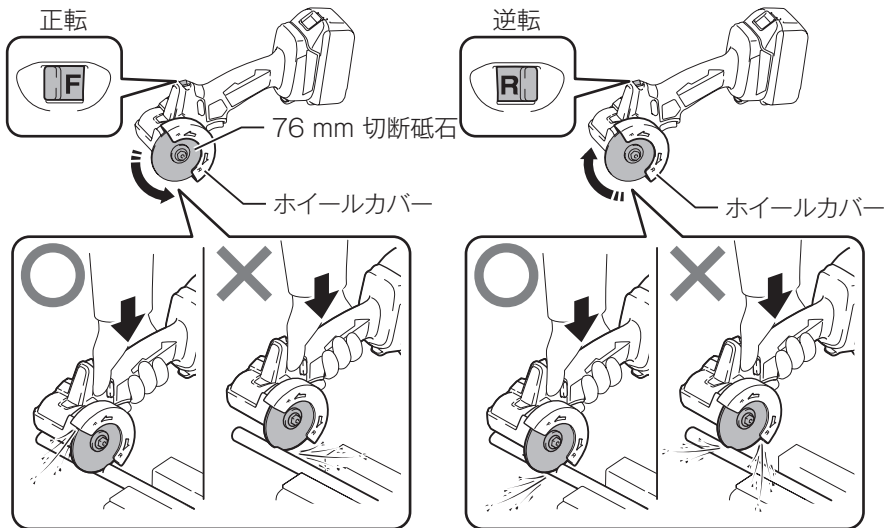
金工：76 mm 切断砥石（標準付属）

- ・ 正転・逆転どちらでも作業が可能です。

1. ホイールカバーの位置を火花の飛び方向に注意し調整します。（24 ページ参照）。
2. 76 mm 切断砥石が材料に触れない位置でスイッチを入れます。

作業方法

- 加工材を切断します。
 - 本製品をしっかり保持し、ゆっくりと加工材に対して、垂直下方向に切断してください。
 - 切り終わるまでこの状態を保ってください。



注

- 別販売品の 76 mm 集じんカバーをこの作業時に使用しないでください。破損の原因になります。

作業方法

石工：磁器タイル用ダイヤモンド（別販売品）

⚠ 警告

別販売品の 76 mm 集じんカバーを使用する場合は、必ずホイールカバーに被せて取り付けてください。

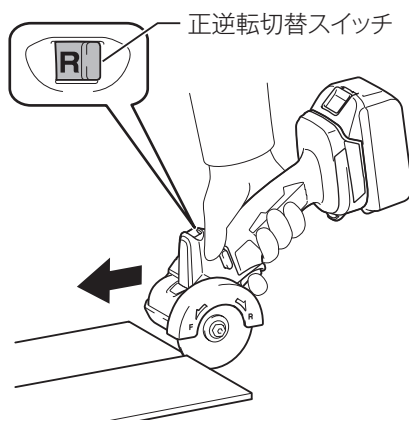
⚠ 注意

磁器タイル用ダイヤモンドを取り付けるときは、回転方向と磁器タイル用ダイヤモンドに付いている矢印の方向を合わせて、磁器タイル用ダイヤモンドの裏表に注意して取り付けてください。

- ・ 矢印に合わせないと、回転方向に対し磁器タイル用ダイヤモンドが逆向きとなり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

押し切り

1. 正逆転切替スイッチを逆転にします。（25 ページ参照）。
2. ホイールカバーの位置を粉塵の飛び方向に注意し調整します。（24 ページ参照）。
※逆転時、粉塵は前方に向かって飛びます。
3. 磁器タイル用ダイヤモンドが材料に触れない位置でスイッチを入れます。
4. 加工材を切断します。
 - ・ 本製品をしっかり保持し、ゆっくりと加工材に対して、前進方向に切断してください。切り終わるまでこの状態を保ってください。



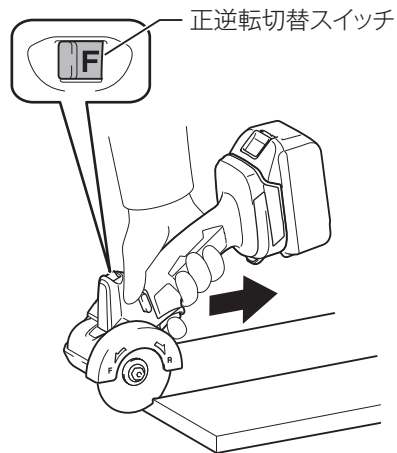
注

- ・ ホイールの 7 時から 8 時辺りを目安に当てると作業がし易くなります。

作業方法

引き切り

1. 正逆転切替スイッチを正転にします。(25 ページ参照)。
2. ホイールカバーの位置を粉塵の飛び方向に注意し調整します。(24 ページ参照)。
※正転時、粉塵は後方に向かって飛びます。
3. 磁器タイル用ダイヤモンドが材料に触れない位置でスイッチを入れます。
4. 加工材を切断します。
 - ・ 本製品をしっかり保持し、ゆっくりと加工材に対して、後進方向に切断してください。切り終わるまでこの状態を保ってください。



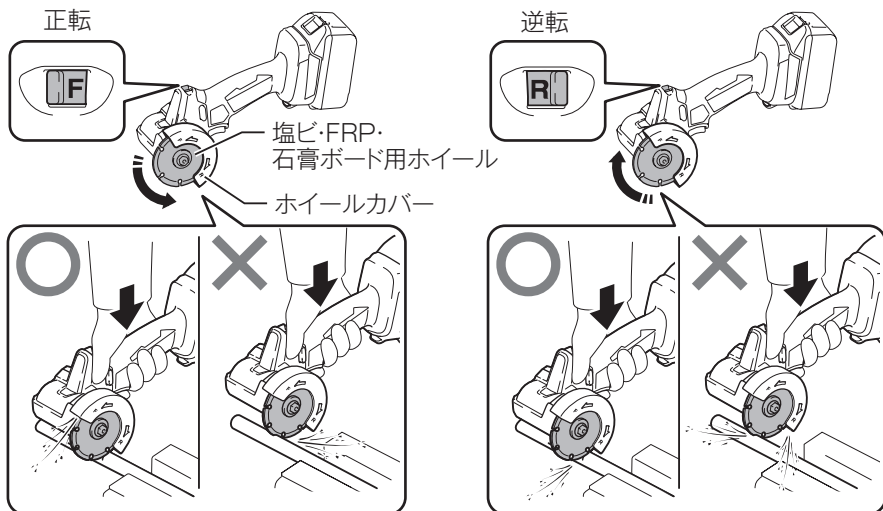
注

- ・ ホイールの 4 時から 5 時辺りを目安に当てると作業がし易くなります。

作業方法

塩ビ管など：塩ビ・FRP・石膏ボード用ホイール（別販売品）

- ・ 正転・逆転どちらでも作業が可能です。
1. ホイールカバーの位置を粉塵の飛び方向に注意し調整します。
(24 ページ参照)。
 2. 塩ビ・FRP・石膏ボード用ホイールが材料に触れない位置でスイッチを入れます。
 3. 加工材を切断します。
 - ・ 本製品をしっかり保持し、ゆっくりと加工材に対して、垂直下方向に切断してください。切り終わるまでこの状態を保ってください。



作業方法

76 mm 集じんカバー（別販売品）

⚠ 警告

76 mm 集じんカバーは火花が出る作業では使用しないでください。
・ 破損する可能性があります。

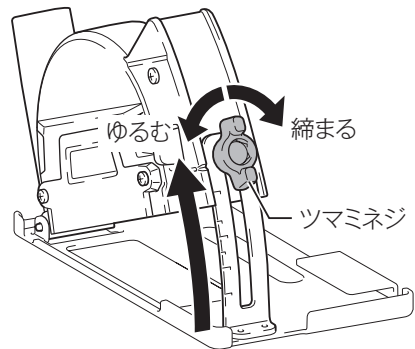
⚠ 注意

正転での使用や引き切り使用する場合、集じん率が大幅に下がります。

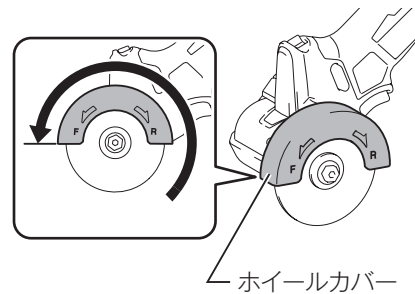
本製品は 76 mm 集じんカバーを使用して、加工材をまっすぐ切断したり、切り込み深さを調整できます。
また、切粉が散乱しにくいようにしながら作業することができます。

取り付け方

1. ツマミネジをゆるめ、切り込み深さを一番浅い位置にし、ツマミネジを締めます。

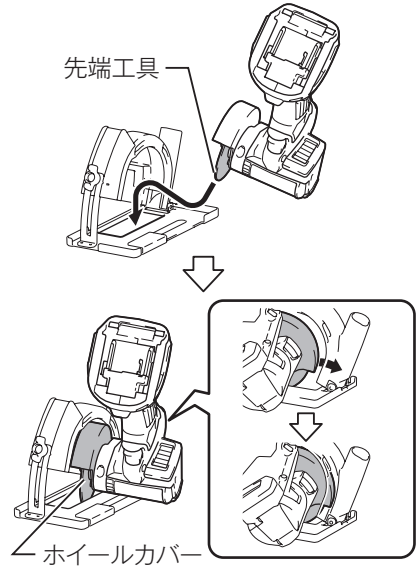


2. ホイールカバーの位置を前方に調整します（24 ページ参照）。

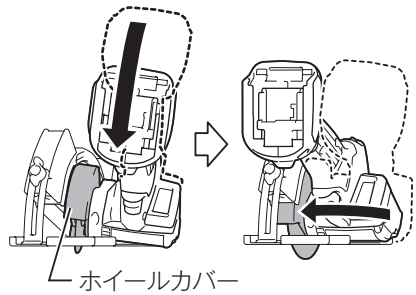


作業方法

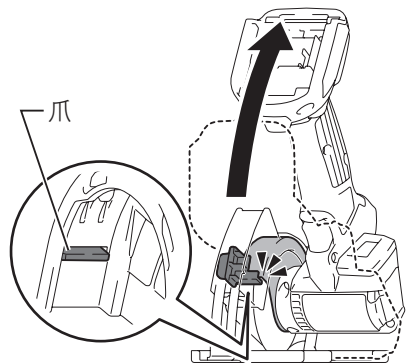
3. 先端工具を斜めから入れ込み、ホイールカバー前部を奥まで押し込みます。



4. 本製品を下げて、ホイールカバー全体を押し込みます。



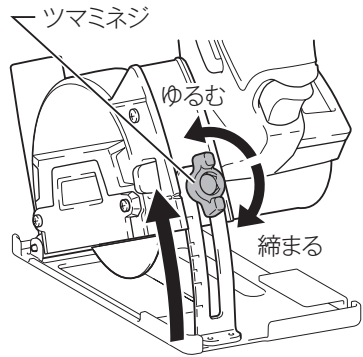
5. ロックレバーの爪にホイールカバーが引っかかるまで、本製品を上げます。



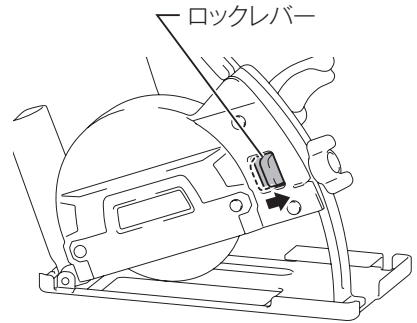
作業方法

取りはずし方

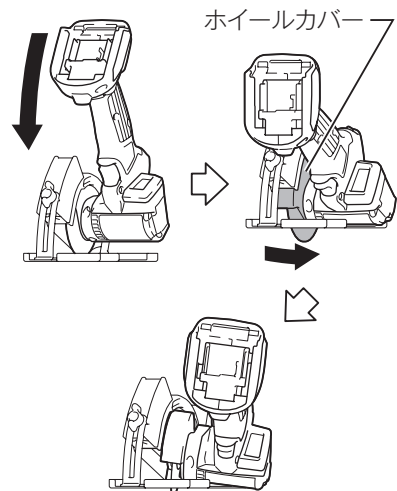
1. ツマミネジをゆるめ、切り込み深さを一番浅い位置にし、ツマミネジを締めます。



2. ロックレバーを引きます。

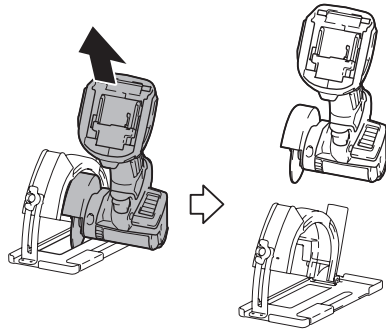


3. 本製品を下げて、ホイールカバーを横にはずします。



作業方法

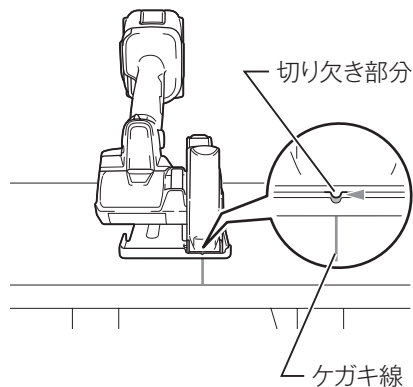
4. 本製品を持ち上げて76 mm 集じんカバーからはずします。



76 mm 集じんカバーの使い方

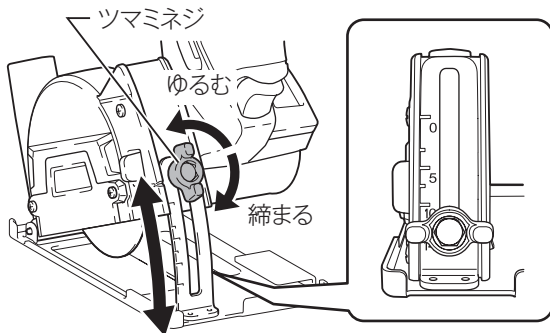
まっすぐ切断したい場合

切断するとき、76 mm 集じんカバーの切り欠き部分とケガキ線を合わせてください。



切り込み深さ調整

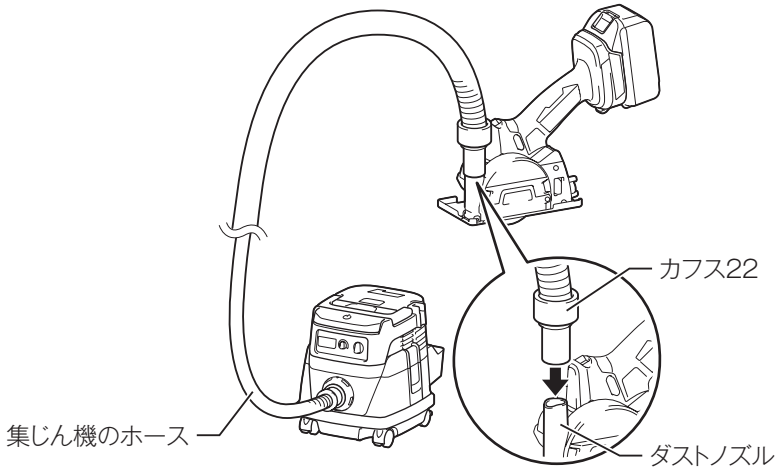
1. ツマミネジをゆるめ、お望みの深さに76 mm 集じんカバーを上げ下げして調整します。
2. 調整後は、ツマミネジをしっかり締め付けてください。



作業方法

集じん機、ホースとの接続

- ・ 集じん機付属のホースにカフス 22 を取り付け、ダストノズルにカフス 22 を接続してご使用ください。



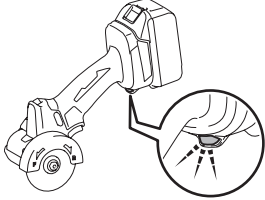
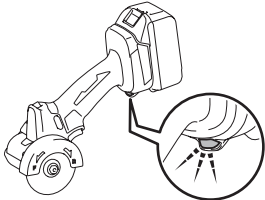
注

- ・ 内径 ϕ 38 のホースを接続する場合はジョイント 22-38 (別販売品) を使用してください。

保護機能

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能	お知らせ表示
<ul style="list-style-type: none">本製品およびバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。	 <p>本製品の異常発熱時、 ライトが点滅 (約 1 分後消灯)</p>
<ul style="list-style-type: none">バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。	
<ul style="list-style-type: none">本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止し、ライトが点滅します。<ul style="list-style-type: none">いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。	 <p>モータが停止し、 ライトが点滅 (約 1 分後消灯)</p>

- 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(39 ページ参照)に従って点検してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを取りはずしてから、再度つけてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 38 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

保守・点検について

⚠ 警告

保守・点検の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

本製品のお手入れ

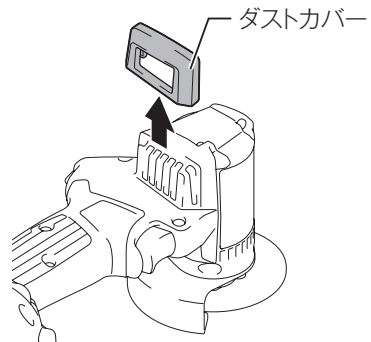
- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ダストカバーのお手入れ

- ・ 使用後はダストカバーをはずし、金網に付着したゴミやほこりを取り除いてください。



ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881H95A8
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)